



ガハテホ通信

篠山ナマステ会 事務局 〒669-2221 篠山市西古佐921 振替口座 00930-6-29629



上の、ハッピーな少女がメッセージを寄せてくれました。(セティディビ小学校にて)



奨学金を渡している少女たちが前の方にいます。男性は校長です。(ラダ・クリシュナ小中学校にて)

特集

マハデブスタン地区 における教育事情

セティディビ小学校
ラダ・クリシュナ小中学校

ネパールの政治状況も憲法制定に向け進展しつつあるようですが、現地の情報はなかなかうまく入手できません。そこで、今回初めて、セティディビ小学校、及びその卒業生が多く学ぶラダ・クリシュナ小中学校の校長に学校の紹介記事をお願いしました。

セティディビ小学校では、児童数が以前に比べると減少しましたが、飲み水の確保もできて、子どもたちは元気に学んでいます。

ラダ・クリシュナ小中学校では奨学金支援を受けている生徒たちがしっかりと学習に励んでいる様子が伝えられていて、安心しました。

校長が抱える学校運営課題等を共有することにより、今後の教育支援や学校との交流について考えていきたいと思えます。

ビシュニュ・マニ・ネパール
通信員報告
2014. 2



ビシュヌ・マニさん

セティディビ小学校

Seti Devi Primary School

ガハテ村はネパール・カブレ郡の山間部にあって、郡庁所在地(デュリケル)からは三二キロメートル離れています。この村にはタマンとダリットのコミュニティがあります。
一五年前には学校はありませんでした。それではとんどの子どもたちは学校へ行かず、村人も教育や健康については関心を持っていませんでした。
日本の篠山ナマステ会とSSS (Samaj Sewa Samitha) の長期間にわたる支援によって、今私たちは学校校舎と政府教員及び公費負担教員を有して、村の子どもたちに教育を授けています。セティディビ小学校を卒業後、多くの子どもたちが上級の学校へ進み、また他地域で仕事に就いています。

私たちはこちらで元気にしております。皆さまも元気でお過ごしのことと思います。セティディビ小とラダ・クリシュナ小中校はどちらも順調に運営されています。そして、学校の児童生徒たち、教職員、学校運営委員会は、発刊予定の貴広報紙にかかる知らせ(セ小とラダ・クリシュナ校の特集記事を組むこと)を聞いて大変うれしく思っており、貴会へのメッセージのお届けができるようになります。



ガハテ村全景

①児童数

学年	男子	女子	合計
1	13	9	22
2	5	3	8
3	12	4	16
4	6	7	13
5	5	11	16
合計	41	34	75

学校長 Nawaraj Sapkota ナラジ・サブコタ

私は篠山ナマステ会に対し心からのお礼を申し上げたいと思います。そして校舎建設、教員給与、上水道施設、その他の領域でのご支援を決して忘れることはありません。
ここに、学校の諸情報をお知らせします。篠山ナマステ会との友好関係を継続させることを願っております。

②教職員と担当教科

教 職 員 名	教 科 等
Mr.Nawaraj Sapkota ナワラジ・サブコタ	英語、学校長
Mr.Ramsaran Bhandari ラムサラン・バンダリ	算数、理科
Ms.Mithu Kumari Tamang ミツ・クマリ・タマン	国語(ネパール語)
Ms.Bishnu Maya Tamang ビシュニュ・マヤ・タマン	社会、特設英語
Mr.Hira Lal Tamang ヒラ・ラル・タマン	校務員

■児童からのメッセージ

日本の篠山ナマステ会と小学5年生に学んでいるお友だち、そしてすべての親愛なるみなさまへ。

私が皆さまへメッセージをお届けする機会を下さったことに心から感謝します。私たち児童みんなは元気にしており、皆さまもみんなお元気でお過ごしのことと思います。

私の名は Radhika Tamang ラディカ・タマンです。私は11歳、5年生でガハテ村に住んでいます。私たちは、セティディビ小学校が家の近くにあり勉強する機会を持って、大変幸せに思っています。そして、校舎建設、先生の給料、飲み水の施設やその他の色んなことで助けていただき、心からのお礼を申し上げたいと思います。私たちはこれからも皆様のご支援を決して忘れることなく、兄弟姉妹に伝えていきます。

有難うございました。

Radhika Tamang ラディカ・タマン
セティディビ小学校5年生

③学年と教科

学年	教 科
1	国語(ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健
2	国語(ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健
3	国語(ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語
4	国語(ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語
5	国語(ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語



ラダ・クリシュナ・ガナシヤム小中学校

Radha Krushna Ghanashyam

Lower Secondary School

皆さんに私たちの学校の情報を提供する機会を与えていただいたことに心からの感謝を申し上げます。私たちは、貴会が広報紙を発刊して私たちの学校のことと載せる計画だと言うことをビシユニユマニ・ネパール氏から伺い、大変うれしく思っています。

篠山ナマステ会のご支援によるSSS(Samaj Sewa Samuha) 奨学金のお陰で、9人の少女が私たちのラダ・クリシュナ小中学校で学んでいます。彼女たちは順調に学習を続けています。私たちはこのことについてとても嬉しく思っており、篠山ナマステ会のすべての皆さまに心からの感謝を申し上げます。私は、ご支援が継続することを願いますと共に、いつでも日本の篠山ナマステ会に私たちの実践をお分かちできることを申し上げます。



それではラダ・クリシュナ・ガナシヤム小中学校の情報を提供したいと思います。

学校長

Ram Hari Nepal ラム・ハリ・ネパール

②教職員と担当教科

教職員名	教科等
1 Ram Hari Nepal ラム・ハリ・ネパール	算数数学 理科 学校長
2 Hari Krishna Shrestha ハリ・クリシュナ・シュレスタ	理科 社会
3 Puna Lal Shrestha プナ・ラル・シュレスタ	保健 国語 (ネパール語)
4 Bikraram Shrestha ビクララム・シュレスタ	算数数学 特設英語
5 Sudershan Sapkota スダーシャン・サブコタ	理科 特設英語
6 Indira Sapkota インディラ・サブコタ	国語 (ネパール語) 道徳
7 Dipak Shrestha ディパク・シュレスタ	英語 コンピュータ
8 Rama Sapkota ラマ・サブコタ	国語 (ネパール語) ビジネス英語
9 Laxuman Bhandari ラクスマン・バンダリ	校務員

①児童数

学年	男子	女子	合計
1	10	12	22
2	9	11	20
3	11	9	20
4	12	13	25
5	10	9	19
6	10	14	24
7	12	11	23
8	18	15	23
合計	92	94	186

③学年と教科

学年	教科
1	国語 (ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健
2	国語 (ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健
3	国語 (ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語
4	国語 (ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語
5	国語 (ネパール語) 英語 算数 社会 理科 保健 特設英語
6	国語 (ネパール語) 英語 数学 社会 理科 保健・ビジネス 特設英語 道徳 コンピュータ
7	国語 (ネパール語) 英語 数学 社会 理科 保健 特設英語 道徳 コンピュータ
8	国語 (ネパール語) 英語 数学 社会 理科 保健 特設英語 道徳 コンピュータ

■生徒からのメッセージ

日本の篠山ナマステ会と中学2年生に学んでいるお友だち、そしてすべての親愛なるみなさまへ。
 私が皆さまへメッセージをお届けする機会を下さったことに心から感謝します。私たち児童生徒はみんな元気です。皆さんもそちらでお元気で過ごしのことと思います。
 私の名前は Sunita Ramtel スニータ・ラムテル (女生徒) です。私は 14 歳で第8学年生、Deurali デューラリ村に住んでいます。私は篠山ナマステ会が支援いただいている SSS(Samaj Sewa Samuha) の奨学金で中学校で学ぶ機会が与えられ、大変うれしく思っています。私の家族の収入源は大変少なく、貧しいです。奨学金の支援なしには勉強を続けることができません。ですから、私は奨学金の支援を提供いただいているすべての皆さんに心からのお礼を申し上げたいと思います。
 ネパールの地方 (山間部) には私のような少女が随分と多くいます。基本的な諸経費が足りなくて、非常に多くの子どもたち、特に女生徒がより高い教育を受けられず去っていきます。私の生活にとって、篠山ナマステ会の支援は非常に大きなものです。ですから、私は皆さんからのご支援を決して忘れることなく、これからも私たちの兄弟姉妹に伝えていきます。
 有難うございました。

Sunita Ramtel スニータ・ラムテル
 ラダ・クリシュナ・ガナシヤム小中学校第8学年生

マハデブスタンVDCの教育事情

セティディビ小学校と

ラダ・クリシュナ・ガナシャム小中学校

ネパールには「郡」(日本の都道府県)が全国で七五あり、この下に行政村であるVDC (Village Development Committee) がおかれています。マハデブスタンはカブレ郡のVDCの一つで、この中に九つのワード (Ward) があって、各ワードにはそれぞれ一つのコミュニティスクールがおかれています。また私立学校があるワードもあります。

このコミュニティスクールの設置形態は様々で、小学校(一〜五学年)、小中学校(一〜八学年)、小中高等学校(一〜一〇学年)、中には大学が併設されている学校もあります。

セティディビ小学校はマハデブスタンVDCワード六(ガハテ村)にあります。児童はタマン族が中心ですが、約二割のダリットが在籍しています。

ダリットはネパールのカースト制度外に置かれた人々で経済的、社会的に様々な差別を受けてきました。ネパール政府は女性への教育と並んで、このダリットの人々の教育充実に特に力を入れています。

セティディビ小学校を卒業した児童の多くが進学するのがラダ・クリシュナ・ガナシャム小中学校(マハデブスタンVDCワード八)で、ここでのダリット在籍率は約六割です。篠山ナマステ会は、SSSと連携しながら、セティディビ小学校を卒業して中・高等学校に学ぶ女生徒たちを対象に奨学金を支援していますが、ラダ・クリシュナ小中学校にはこの奨学金が多く学んでいます。

篠山ナマステ会はこれらお互いに関係の深いセティディビ小学校とラダ・クリシュナ小中学校と、今後も支援・交流活動を進めていきます。

ネパール本を市内の学校に寄贈

「サンガイ・ジウナコ・ラギ」



中学校長会で本の説明をして、贈呈しました。



ネパールと日本とのつながりを伝える書籍「サンガイ・ジウナコ・ラギ」を篠山市内の小中特別支援学校に各一冊ずつ寄贈しました。

日本人医師、岩村昇氏らとネパールの人々の交流を描いたものです。ネパールの青年が病の老人を無償で背負って歩き、お礼をしようとした岩村氏に「サンガイ・ジウナコ・ラギ」と答えたエピソードを紹介しています。

題名はネパール語で、「みんなで生きるために」という意味で、篠山の子どもたちに、ネパールとその国に息づく心を知ってもらいたいと願っています。

岩村先生と違う？

五十川 美智子 (元中学校教員)

今から三十年ほど前のこと、三ノ宮発のバスに乗ってきた人。コート姿で大きな旅行カバン。私達の向こう隣で甘栗を食べ始めた。「岩村先生と違う？」連れの友人の言葉にハッとされた。道徳(ともだち旧版)の本に載っている岩村氏! 「話しかけようか」こんなチャンスは二度とない。私は必死で話しかけた。

「今、夕食中です。日本に帰ると三食でよい病気になるんです。こんな木の実で二食の生活が体にいい」と言われた。「農薬、葉漬けの先進生活は南アジア諸国に見習わねば」とも。

次に、気になっていたマヤちゃんのことを尋ねた。私が高校生の時、鳥取大学の岩村医師夫妻が五歳のマヤちゃんを養女にされたと新聞に載っていたからだ。彼女は神戸で幼児教育に携わっていること、他に四人の養子を育てて、タイの息子が結婚すること、更に奥様の美しい字に惹かれて結婚したことなどを印象深く話された。

そして篠山口から後川へ軽トラックでお送りした。「次回は、学生たちと農文塾に宿泊するので、多紀中学校で講演しよう」と約束していただいた。

後日、大学に連絡し演題を聞くと「みんなで生きるために」といつも決めておられるとのこと。ああ、サンガイ・ジウナコ・ラギや! と思った。当日は、岩村先生のお話の後八人の学生たちが夢や決意を語られた。生徒たちは感銘を受けて、次々質問をして終わった。

今は亡き友人の一言は私にとって一生の宝になっている。

ネパールスタディツアー並びに PHD研修生の 帰国報告会



意見発表をする平井さん

彼らは自国で村づくりに取り組みます。歩みはゆつくりかもしれませんが、篠山ナマステ会はこの若者たちとの連携を続け、共に学び合える豊かな交流活動を展開したいと思えます

今年、ネパールスタディツアーに高校生として参加した篠山東雲高等学校の平井さんの意見発表も聞き、交流を深めました。

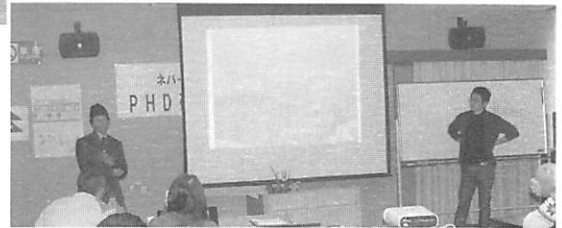
彼らは日本で多くのことを学んだことでしよう。また、私たちもまた彼らから文化や生き方を感じ取ることができました。

平成二五年度PHD研修生報告会が、二月九日丹南健康福祉センターで開かれました。ネパールのプレムさんは篠山市では有機農業や農産物の販売を中心に一週間、ミャンマーのモーママさんは篠山市健康福祉センターでの健康衛生管理や福祉活動で一週間過ごし、学んだことやこれからの抱負を上達した日本語で元気に発表してくれました。

平成二五年度PHD研修生報告会が、二月九日丹南健康福祉センターで開かれました。ネパールのプレムさんは篠山市では有機農業や農産物の販売を中心に一週間、ミャンマーのモーママさんは篠山市健康福祉センターでの健康衛生管理や福祉活動で一週間過ごし、学んだことやこれからの抱負を上達した日本語で元気に発表してくれました。



保健衛生について話すモーママさん



有機農業について話すプレムさんとPHD研修担当今里さん

プレムさんからの手紙

こんにちは！わたしは プレム ラマです。ネパールのピンタリむらの のうみんです。ガソリンと しおとふくは がいこくのく にかからいます。

わたしは 一ねんかんにほんの ゆうきのうぎょうの べんきょうをしました。たねをまく なえをうる ほかしのひりょうに わとりのえさのつくりかななどを べんきょうしました。

ひがしにほん にしにほんのけんしゅうでは いろんなこのくみあいやひろしまの けんばくのことを べんきょうしました。はんしんあわじと ふくしまの じしんと つなみのことも べんきょうしました。しょうがつこう ちゅうがつこう だいがくのがくせいと あいました。

これは わたしだけの ためではないと おもいます。だからむらにかえて むらの のうみに おしえたいです。むらにかえて ゆうきのうぎょうを はじめます。

モーママさんからの手紙

こんにちは！私は、ミャンマーのモーママです。私は、ミャンマーにかえて日本で べんきょうしたことを せひおしえたいとおもいます。とくに、りにゆうしよく、としよかんのうんえい、ことうけつあつ、とうにようびよう、はのことなどがべんきょうになりました。そして 日本のがんかと ミャンマーのぶんかのちがいがいも べんきょうになりました。たとえば 私のむらは まだたすけあいと しあわせがあります。日本はちよつとすくないとおもいます。

私はかえて いちばん おしえたいのは ことうけつあつについてです。おしえるまえに ことうけつのもんだいは なんですかを ききたいです。村のひとに おしえるだけじゃなくて じぶんで かんがえてほしいからです。こたえをきいて いっしょにかんがえたいです。

■平成25年度活動報告■

- 4月1日 4月の定例幹事会
- 4月20日 平成25年度定期総会を開催
- 5月6日 5月の定例幹事会
- 6月3日 6月の定例幹事会
- 7月1日 7月の定例幹事会
- 7月27日～8月5日 ネパールスタディツアー開催
- 8月9日 8月の定例幹事会
- 8月3～9日 PHD研修生モーママさん受け入れ
- 9月19～27日 PHD研修生プレムさん受け入れ
- 9月9～19日 ネパールの子どものたちの絵画展を開催
(第23回市民講座)



- 9月30日 10月の定例幹事会
- 10月1日 ガハテ村通信No24を発行
- 10月12日 篠山味まつりで黒枝豆を販売
- 11月4日 11月の定例幹事会
- 11月30日 味間ふれあい館利用団体交流会に参加
- 12月2日 12月の定例幹事会
ネパールカレンダー幹旋
- 12月4～8日 第11回人権フェスタinささやまに参加



- 1月13日 1月の定例幹事会
- 1月21 / 22日 ネパールの本市内小中特別支援学校に寄贈
- 1月26日 篠山市民センターまつりに参加



- 2月3日 2月の定例幹事会
- 2月9日 ネパールスタディツアー並びに
PHD研修生の帰国にかかる報告会を開催
(第24回市民講座)
- 3月1日 ガハテ村通信No25を発行
- 3月3日 3月の定例幹事会

★黒枝豆販売について

恒例になりました黒枝豆販売を今年は篠山味まつりに行いました。一〇月一二日と一三日に予定していましたが、初日に完売しました。また、ネパール茶の販売もしましたが、これも完売しました。収益金は合計四万九四七六円でした。

★リサイクルバザーについて

一二月七日に行われた人権フェスタで、リサイクル用品のバザーをし、三万六六七〇円の収益がありました。

★募金について

行事開催時に募金箱で募金をお願いしましたが、合計五三三二円となりました。ご協力いただきありがとうございます。



定期総会のお知らせ

平成二六年度定期総会を
四月一九日(日) 一三時三〇分
丹南健康福祉センター二階
で開催を予定しています。
記念行事では、

「ネパール支援・教育から農業へ」と題してネパールカルナリ協力会の清沢洋(ふかし)氏の講演会を予定しています。
ネパールの現状と今後の活動を考える機会したいと思います。

一五周年記念行事企画について

篠山ナマステ会は、平成二七年度に発足一五周年を迎えます。
これまで、五周年ごとに活動のふり返りと続く五年間の方向性を考える機会として周年行事を企画してきました。

平成二六年度は、その準備期間とします。

記念行事等について皆さんのご意見等をお寄せください。



篠山ナマステ会